

部局名	教育委員会	所属名	指導課	所属長名	浅見 幸彦	電 話	481-0301
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	4175	事務事業名称	学校図書館蔵書データベース化事業					短縮コード	経常		臨時	4175
予算区分	会計	01	一般会計	款	05	労働費	項	01	労働諸費	目	02	緊急雇用対策費
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務		根拠法令等		千葉県緊急雇用創出臨時特例基金事業補助金交付要綱							
☐ その他												
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
県の緊急雇用創出事業を活用し，市内小中学校の学校図書館蔵書データベース化を行った。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	06	第6章産業活力都市をめざして					
23年度で終了					大項目（節）	04	第4節労働環境					
					中 項 目	01	1. 労働環境					
					小 項 目	01	(1)就業の実現と安定					
					細 項 目	01	①失業者の就業支援					
				実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	23年度で終了						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 学校図書館データベース化。小学校11校，中学校5校						
	※平成24年度に計画していること： 終了						
意図 （何を狙っているのか）	学校図書館蔵書をデータベース化することにより，児童生徒の読書活動の充実及び蔵書管理につなげ，教育環境の整備を図る。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	小中学校児童生徒数	人	16,874	16,882	16,661	
	指標2	事業に従事する人数	人	16	16	16	
	指標3						
活動指標	指標1	小中学校数	校	34	34	34	
	指標2	新規雇用者の失業者数	人	14	14	14	
	指標3						
成果指標	指標1	学校図書館データベース化終了校/小中学校数	%	52.9	100	100	
	指標2	雇用の創出（新規雇用の失業者数/事業に従事する人数）	%	87	87	87	
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	4175	事務事業名称	学校図書館蔵書データベース化事業				所属名	指導課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			緊急雇用対策事業であり、平成23年度で事業が完了した。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☒ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			事業が完了することにより、成果は保たれて経費が削減となるため。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☒	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
特になし									

所属長コメント	平成２２．２３年度で終了した。本事業で整備されたことは、読書教育推進事業で活用していく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			緊急雇用対策事業としての期間内において目的を達成したことから、本事業は完了とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☒ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									